

# ◎ 横浜市のIT化への取り組み

## ① 横浜市のIT推進について

■金子延康・大木将彰

### 1 はじめに

情報通信技術（IT）の急速な進展によって、インターネットを利用したeコマースやオンラインショッピング、携帯端末からのさまざまな情報の取得など、市民生活や企業活動においてITを活用する機会が急速に広がってきている。このような社会の構造的な変化を及ぼしているIT化に本市が的確に対応していくためには、ITの活用に向けた新たな戦略が必要である。

また一方で、ITは利便性や効率性の向上といった光の部分のみならず、情報格差や情報漏洩など影の部分も内在している。この光と影の部分を正しく認識し、市民生活や企業活動における新たなIT活用ニーズに応えるとともに、格差是正や安全面などにも十分配

慮した取組が急務となっている。

こうした状況において、本市では、到来するIT社会に向けた取組として、市長を本部長とする「横浜市IT推進本部」体制を設置し、本市におけるIT活用の方向性を定める「横浜市IT戦略」の策定を行うなどの全庁的な推進を行っている。

### 2 進展するITの動向と利用の状況

わが国におけるインターネットの利用者は、平成12年度版通信白書によれば、平成12年末に4708万人に達しており、平成17年末には8720万人に達すると推定されている（図1）。また、技術的な進展の面では、テレビ放送のデジタル化、白物家電などの家電製品のデジタル化、携帯電話に代表される

モバイル通信機器の普及などが、急速に進むものと推測される。こうしたIT化の進展は、

経済面においては電子商取引などのビジネスの主流を担う新産業の創出など、経済の活性化に向けた牽引役となるものと期待され、また、生活面においては、店舗や届出窓口に向くことなく、いつでもどこからでも商品の購入や公共機関、銀行などのサービスを受けることができるなど、時間的、空間的な制約や負担を大幅に緩和するものとして期待されている。

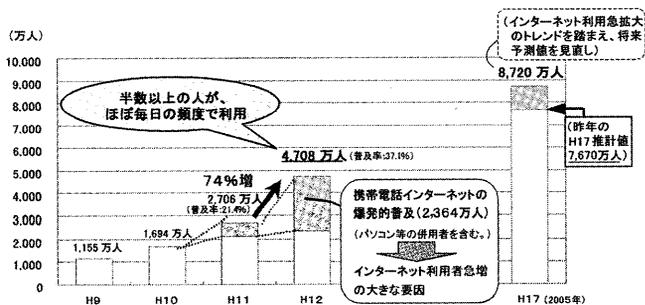
このような社会的背景から、横浜市においてもITを活用した電子都市の構築に向けた積極的な取組を早急に行っていくことが必要となっている。

### 3 横浜市のIT推進に向けた取組

- ① 横浜市のIT推進について
- ② 「ITを活かした都市づくり」提言について
- ③ 電子自治体
- ④ 動き始める行政情報通信基盤
- ⑤ 公共事業のIT化（CALLS/EC）について

- 1 はじめに
- 2 進展するITの動向と利用の状況
- 3 横浜市のIT推進に向けた取組

図1-1 わが国のインターネット利用者数



平成13年度 総務省「情報通信に関する現状報告」より作成

## ① 推進体制

ITの活用範囲は社会全般に広く関わるものであることから、行政のIT推進においても一部の部署に限定されることなく、全ての関係部署が相互に連携を取りながら一丸となつて進めることが必要不可欠である。本市では、こうした推進を行うための庁内の体制として、市長を本部長、助役・収入役を副本部長、全局長を本部長とするIT推進本部が平成13年7月に設置されている(図-2)。

この推進本部は、ITの活用に向けた本市全体としての理念や方向性を決定する役割を担っている。また、IT推進本部のもとに、「IT推進調整部会」、「IT推進分科会」を設置し、「ITを活かした都市づくり」や「電子市役所の構築」「公共事業のIT化」など、重要なテーマごとにIT推進の検討調整を行っている。

また、「横浜市高度情報社会懇談会」を10月に設置し、外部の有識者やIT関連事業者、市民代表者など幅広い分野から意見を伺いながら進めている。

## ② IT戦略の策定と推進

### ① IT戦略の位置付け

横浜市IT戦略は、昨今ならびに将来にわたるIT化の動向に合わせ3年から5年の範囲で、ITが実現する未来型都市に向けた横浜市の理念および施策の方向性を定める。またIT戦略で定める内容については、ゆめはま次期5か年計画と相互に調和の取れるものとする。ここに定めた理念・施策の方向性に

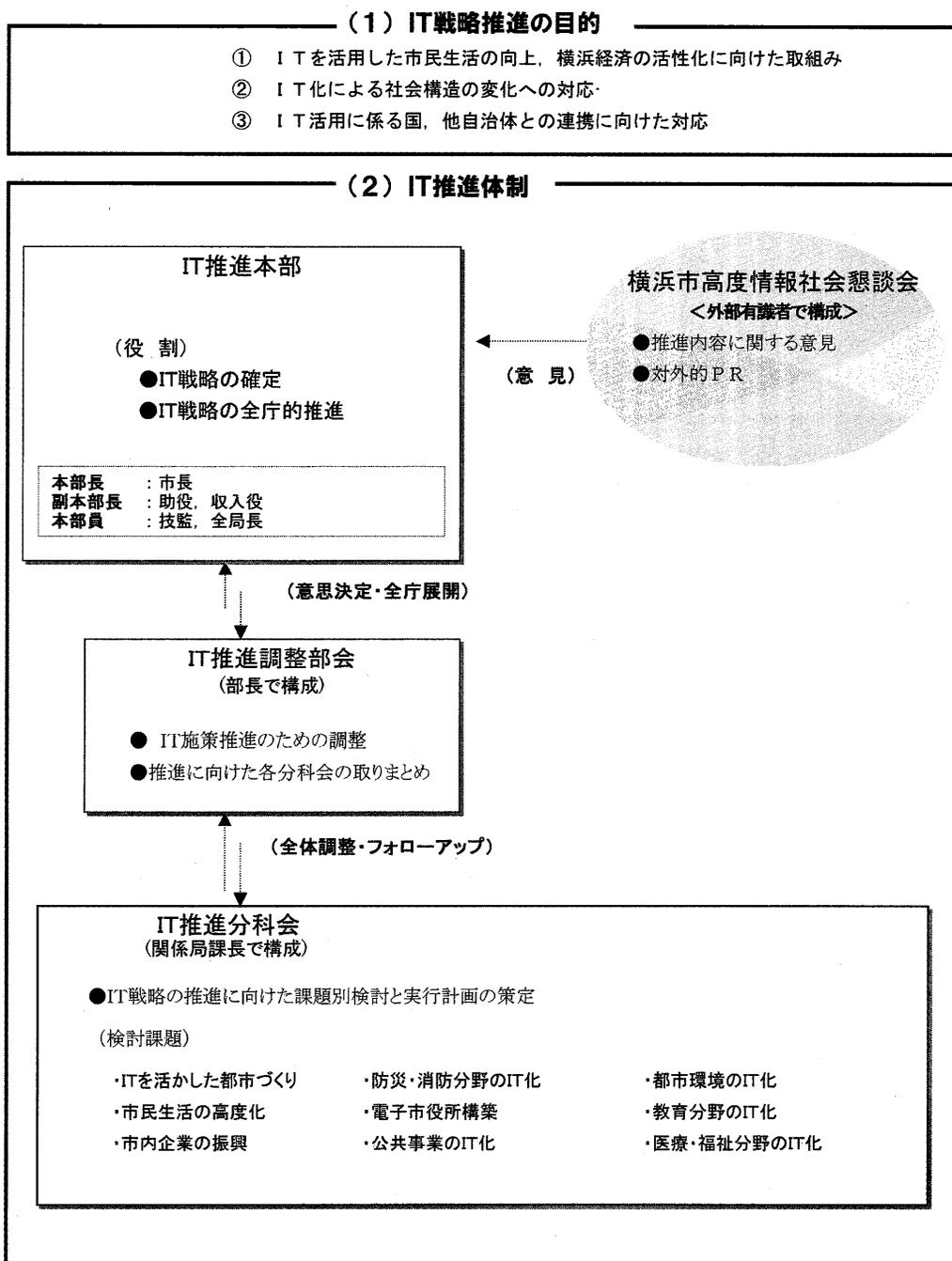
従い、具体的な推進計画、さらに年度毎のアクションプランの策定へと展開していく(図-3)。

## ② IT戦略の概要

IT戦略の策定においては、ITを目的で

なく手段としてとらえ、「市民生活の向上」と「地域の活性化」のためのIT活用をその目標としている。この中では、近年のITの進展に伴う国の政策や市内産業の動向、市民ニーズにおける変化などを勘案し、

図-2 横浜市IT推進体制



- ・電子市役所の実現
- ・都市基盤としてのIT化の促進
- ・ITによる産業の活性化と高度化
- ・情報化人材の育成と情報格差の解消
- ・ITを活用した観光コンベンションの推進

などの重要分野を中心に施策の柱と具体策を策定する。

### ③ IT推進における課題と対策

#### ① ITの急激な変化への対応

ITの進展のスピードは、ドッグイヤー、マウスイヤーに例えられるほど急激な変遷を遂げている。この傾向は今後ますます加速されるものとも考えられ、こうした急激な動きの中で、中長期の将来を確実に想定することは非常に困難である。しかし、一方で、統一したIT化の推進には、中長期の方向性を打ち出すことが不可欠であり、この不透明な状況における最適解探索が必要になる。

この対応として、一つは、ITの進展動向に対する情報収集を常に行うこと、二つには、計画の方向修正をネットワークよくこなすことが挙げられる。特に後者については標準化、コンポーネント化の概念を計画時点から取り入れることが重要であると考ええる。

#### ② 局間、事業間をまたがるITの横断的な適用

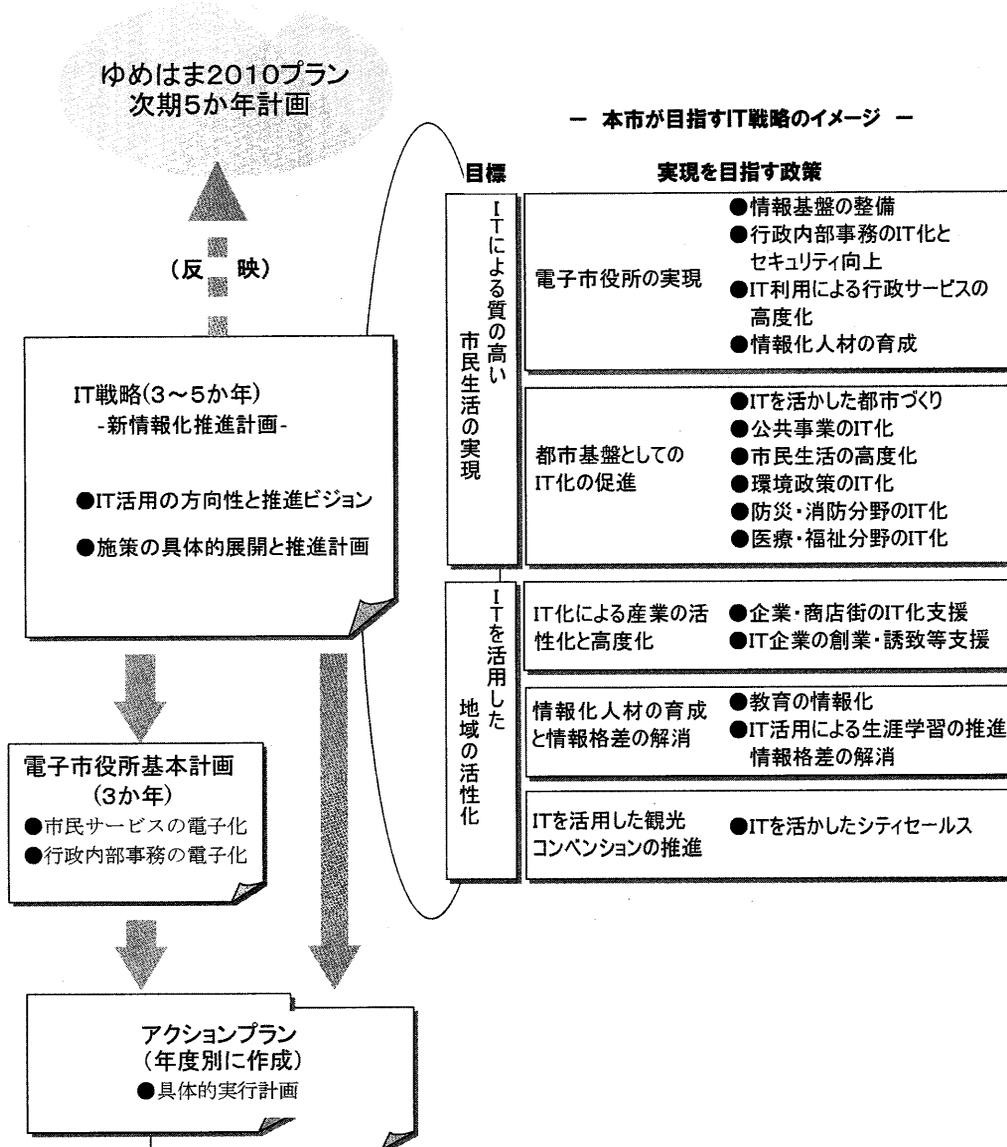
今後のIT活用においては、従前のような各局で個別にシステム化の計画を行う形とは異なり、庁内で統合化されたネットワークの構築や電子化の基盤、さらにはワンストップサービスに向けた事務の統廃合など、共通利

用を前提としたシステム化を進めることが必要となる。

局間、事業間調整に、全庁的な推進体制の場である、各分科会（テーマ毎の関係局間協議の場）、調整部会（各分科会間の調整の場）

などを有効に活用しながら進めていきたい。  
 〈金子Ⅱ企画局企画調整部IT等地域活性化推進担当課長／大木Ⅱ企画局企画調整部担当課長〉

図-3 IT戦略策定について



#### 【策定の背景】

近年のITの進展に伴う国の政策や市内産業の動向、市民ニーズにおける変化など本市を取巻く環境の変化に対応し、ITを活かした都市としての発展を目指した新たな戦略が必要